

<H8-5-A : 問題>

表 5－1 は、夏期に撮影した縮尺 1/10,000 空中写真（パナクロマチック）の判読理由と判読結果について示したものである。判読結果が明らかに誤っているのはどれか。次の中から選べ。

表 5－1

	判 読 理 由	判読結果
1	同じ敷地内に L 型の大きな建物と、グラウンド、プールなどの施設があった	学校
2	扇状地の上に規則正しく格子状の配列を示す樹冠がみられた	果樹園
3	谷筋にあり、階調が暗く、とがった樹冠がみられた	針葉樹林
4	一面ごとに異なった模様の耕地があり、耕地と耕地の間にはあぜがなかった	牧草地
5	一面一面が平たんで、一様なきめの耕地が連続して広がり、耕地と耕地の間にはあぜがあった	水田

<H8-5-B : 問題>

画面距離 15 c mの航空カメラを用いて、縮尺 1/12, 500 で撮影した鉛直写真がある。この写真上で測定した長さ 50. 0mmの橋を縮尺 1/25, 000 地形図上で測定したところ 24. 0m mであった。この橋の高さはいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、撮影基準面は 0mとする。なお関数の数値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

1. 50m 2. 75m 3. 100m 4. 125m 5. 150m

<H8-5-C : 問題>

平たんな土地の空中写真を縮尺 1/10,000 で撮影した。航空機の対地速度を 180 km/h、航空カメラのシャッター速度を 1/350 秒とすれば、この写真像のずれの量はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。なお関数の数値が必要な場合は巻末の関数表を使用すること。

1. 0.014mm 2. 0.018mm 3. 0.019mm 4. 0.023mm 5. 0.051mm

<H8-5-D : 問題>

図5-1の1～6は、グルーバー法による相互標定の手順を示したものである。図中の①～⑥はパスポイントを示し、矢印と数値（単位は0.01mmとする）は、縦視差の方向と大きさを表す。図中の（ア）～（エ）に当てはまる数値または標定要素の正しい組合せはどれか。次の中から選べ。

ただし、矢印の大きさは縦視差の大きさと一致しない。また、全過量修正係数を1.5とする。

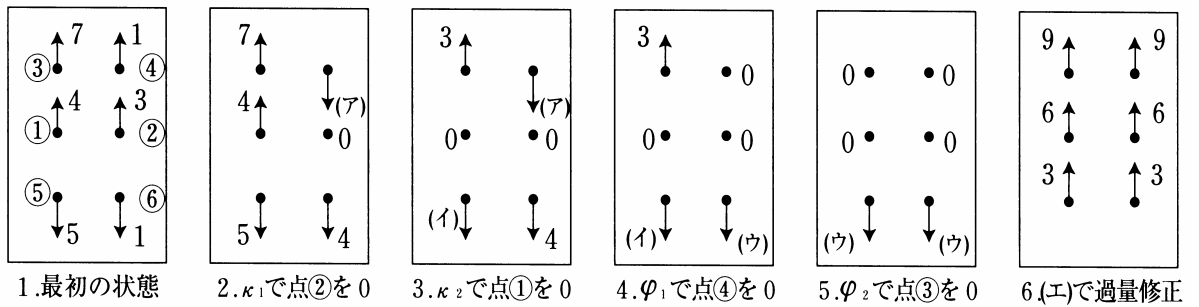


図5-1

	ア	イ	ウ	エ
1.	2	1	6	ω_1
2.	4	9	2	ω_2
3.	2	9	6	ω_2
4.	1	5	2	by
5.	2	5	4	ω_1